

環境白書の刊行にあたって

気候変動の影響によると考えられる自然災害が毎年日本各地で発生しており、それは本県も例外ではありません。

地球温暖化の脅威は、私たちにとって遠い世界のことではなく、現実の問題です。

今、地球環境について真剣に考え、迅速に対応しなければ、私たちの生存基盤が失われる危機的な状況にあると言っても過言ではありません。



そのため、2019（令和元）年12月、群馬県は、2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ」①自然災害による死者ゼロ ②温室効果ガス排出量ゼロ ③災害時の停電ゼロ ④プラスチックごみゼロ ⑤食品ロスゼロ）を宣言し、様々な施策に取り組んできました。

さらに、2022（令和4）年3月には、「ぐんま5つのゼロ宣言」の実現に向けた取組を一層推進するため、2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」実現条例を制定しました。この条例では、一定規模以上の建築物を新築・増改築しようとする者に、再生可能エネルギー設備の導入を義務付けるなど、再生可能エネルギー導入促進をはじめとした温室効果ガス排出量の削減策等について定めています。

今後は、条例に規定された施策をはじめ、環境と経済の好循環を創出し、経済社会全体を変革する取組「グリーンイノベーション」を重点施策に位置付け、官民共創で推進し、「ぐんま5つのゼロ宣言」の実現に向けて取り組んでいきます。

私たち現役世代だけでなく、将来世代が安心して暮らすことができる未来を作っていくためにさらに大切なことは、私たち一人ひとり、そして社会全体の行動が変わっていくことです。

この「環境白書」は、本県の環境全般の現状を明らかにし、多岐にわたる環境問題の解決に向けた取組の実績及び2022（令和4）年度に講じる施策についてまとめたものです。県民の皆様が本書を通じて、本県の環境の現状や将来に関心を持ち、持続可能な自立分散型社会の実現に向けた行動を始めるきっかけとなることを願っています。

2022年9月

群馬県知事

山本 一太